

アセトニトリルを用いて遠心分離機内の結晶を洗浄する作業中、 中毒に罹る



【発生場所】

薬品の製造工程で遠心分離機を用いて結晶を洗浄する作業

【被災原因】

反応釜で生成した結晶を遠心分離機に移し、結晶をろ過後、アセトニトリルをかけながら洗浄。洗浄が不十分だったため、遠心分離機内に手を入れて行う、練り洗いの方法に切り替えた。作業に邪魔な遠心分離器の局所排気装置のダクトを取り外し、作業を行ったところ、アセトニトリルの蒸気を吸引し、ばく露。

【被災状況】

翌日、結晶の練り洗い作業に従事した作業員4名が、脱力感があるとの異常を訴えたので、病院に赴き診察を受けたところ、アセトニトリル中毒と診断された。

【対策】からの抜粋

[2] 有害物を取り扱う作業に際しては、MSDS（製品安全データシート）に記載されている危険・有害性を確認し、必要な保護具を備え付け、その使用を徹底すること。



～理研計器からのご提案～

作業者が個人用PID式モニターを装着して作業することで、ばく露状況を確認することができ、化学物質のリスクアセスメントにお役立ていただけます